

日エグループは1919年の創業以来1世紀以上にわたり、さまざまな社会課題の解決に注力してまいりました。これからの100年も社会が向き合う課題の解決と持続的な企業価値創造の両立を目指します。お客様の課題解決のためには、脱炭素対応型プラントの提供を含めたグリーントランスフォーメーションと同時に、IoTやAI技術を駆使したプラントの自動運転を可能にするデジタルトランスフォーメーションが不可欠だと考えています。新中期経営計画ではこうした取り組みを一段と加速させていきます。

日エグループが取り組むサステナビリティ課題



1 国土強靱化

大型台風、集中豪雨、地震など激甚化する自然災害からの早期復興には当社グループのプラントの迅速な復旧が必要となります。被災ダメージの早期把握、サプライチェーン、関連子会社、パートナー企業を含めて有事への対応を

強化し、お客様への多面的な支援に取り組んでいます。耐震補強などの防災・減災や老朽インフラ対策でもお客様のニーズに即応しています。(▶60P)

2 自然環境との調和

日エグループは2050年にCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指すことを経営方針として明確に位置付け、プラント製造時に自社で排出する分に加えて、販売先の日エ製プラントが稼働時に排出するCO<sub>2</sub>も含めてカーボンニュートラルを達成できるようユーザー様と緊密に連携しています。(▶55P) 天然資源の制約、環境負荷の低減から建設・道路路材の再資源化を達成してきました(再資源化率99%)。現在は

セメントスラッジ(ミキサー車の洗浄水やコンクリート2次製品から発生する廃棄物)の再資源化に取り組んでいます。コンクリートスラッジから再生される軽質炭酸カルシウム(医薬品、フェライト、塗料などの原料として再利用)の再資源化プロセスではCO<sub>2</sub>を吸着させるので、脱炭素への貢献も期待されています。(▶59P)

3 豊かな社会づくり

社会課題の解決に多様なステークホルダーとのパートナーシップが欠かせないと考えています。お客様、従業員、取引先様、地域社会、株主の皆様に必要な価値を提供する

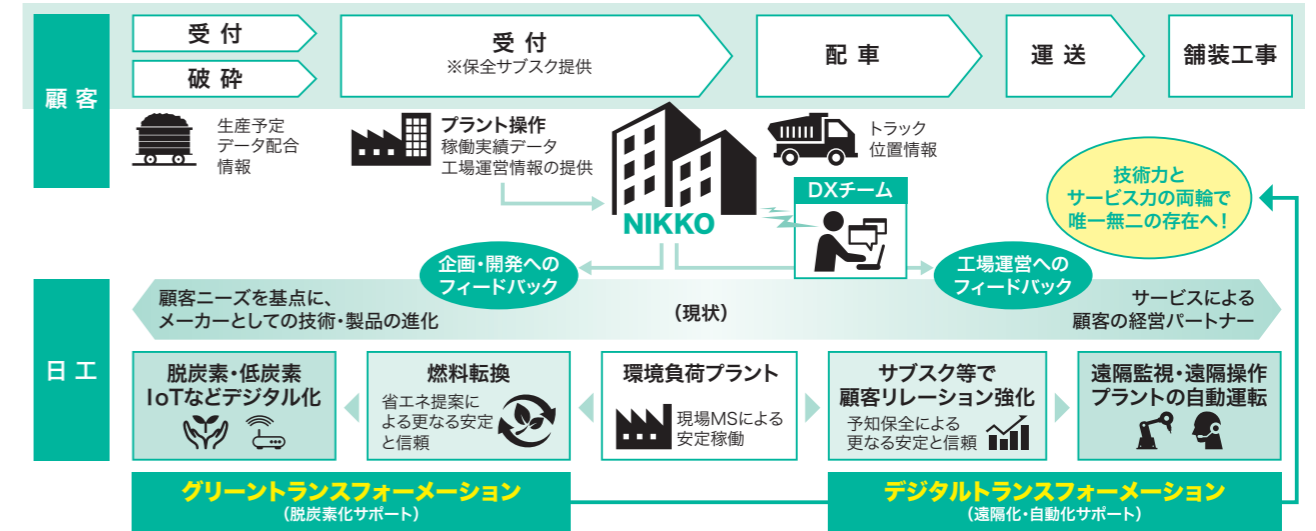
ことで満足度を高め共感を得て、持続的な経済価値と社会価値の同時実現を目指します。(▶67P)

中期経営計画で取り組むグリーントランスフォーメーションとデジタルトランスフォーメーション

日エグループはプラントメーカーとして脱炭素など環境対応サービスにより絶対的優位性を確立するとともにプラント運用サービスを通じてお客様との継続的な関係を築き、お客様の工場運営パートナーとなることを目指しています。そのためには、脱炭素対応型プラントの提供を含めたグリーントランスフォーメーション、同時にIoTやAI技術を駆使したプ

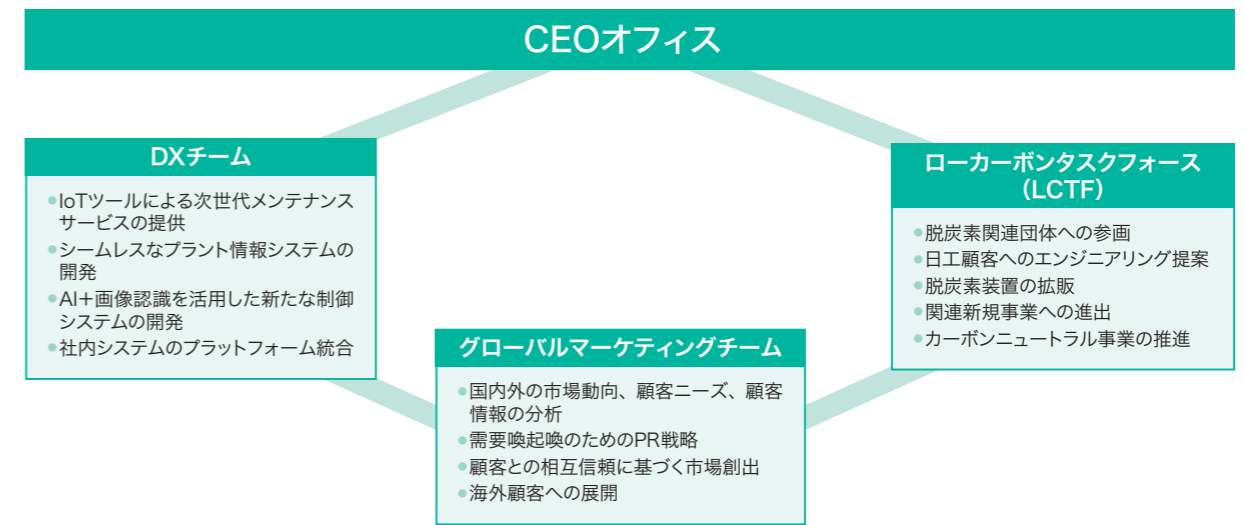
ラントの遠隔監視・遠隔操作による自動運転を可能とするデジタルトランスフォーメーションが不可欠だと考えています。プラントメーカーとしての強い製品力を生かし、お客様の工場運営を刷新する経営パートナーとして選ばれるため、ふたつのトランスフォーメーションに積極的に取り組んでいます。

国内AP事業におけるサステナビリティ戦略



グリーン&デジタルトランスフォーメーション推進体制

プラント製造・販売を主体としたビジネスモデルからお客様のプラントの自動運転をサポートする「脱炭素社会のリーディングカンパニー」へビジネスモデルを変革するため、全社横断的な3つのチームが社長直轄のもと活動しています。3つの全社横断による横申チームが連携を深めながらさまざま課題の解決に当たることでビジネスモデルの変革と持続的な成長を追求しています。



研究開発と人材強化・育成

ふたつのトランスフォーメーションの推進、達成のためには重点分野における研究開発及び人材の強化・育成が重要となります。人材強化・育成には理工系学生を含めた外部人材の積極採用、内部人材のスキル値の可視化及びリスキングで対応、専門性と多様性を高めることでイノベーションの創出を図ります。

【研究開発重点分野】

- 中温化対応プラントと設備
- AP用リジェネバーナ
- 合材搬送長距離化技術
- 新RAVシステム
- AP排ガスCO<sub>2</sub>回収システム
- 新バーナ制御技術
- コジェネシステム
- アンモニアバーナ
- 出荷連動プラント運転システム
- 乾燥砂製造装置

【人材強化・育成重点分野】

- 製品開発
- 設計・エンジニアリング
- 制御、遠隔化・自動化技術
- 技術サポート、プラント運用支援
- リモートメンテナンス